

祭礼や神事などに用いる手縄(てなわ)不足を解決するため
市民との連携により製作販売事業を開始します

一般社団法人 未来社会推進機構
代表理事 吉越 明人

地域で開催されている祭礼や神事、地鎮祭などで使われるしめ縄は、その多くに手縄が使用されています。理由は、神域や祭場をしめし清浄をあらわす「しめ縄」には、紙垂(しで)と呼ばれる紙片をつけて垂らす必要があるため、キツめに編まれた機械縄には紙垂(しで)をつけることが難しいからです。

しかしながら、近年は、藁職員の高齢化や減少により、手縄の生産量が極端に少なくなり、特にここ数年はその仕入れ自体が困難になりつつあり、地域の大きな課題となっています。

そこで、当機構は、藁細工を趣味として活動されている市民に手縄の制作を依頼、販売を開始することとしました。

私たち一般社団法人 未来社会推進機構は、今後も、伝統の継承とやりがいを持って「なりわい」を立てていくための仕組みをつくっていくことにより、持続的な地域づくりをしたいと考え、これからも「1000年集落」へ向けた具体的な提案と実践を行ってまいります。

記

1. 手縄の販売について

- (1) 販売日 令和5年1月18日(火)
- (2) 手縄の規格 1巻 長さ30m 太さ約1cm
- (3) 販売金額 1巻 3,300円(税込み)
- (4) 販売方法

予約販売とし、商品ができましたら代金引換にてお渡しをします。なお、商品ができるまで、1月程度かかります。また、市民が一本ずつ手作りしていますので、多少不揃いな点がありますが、ご容赦ください。

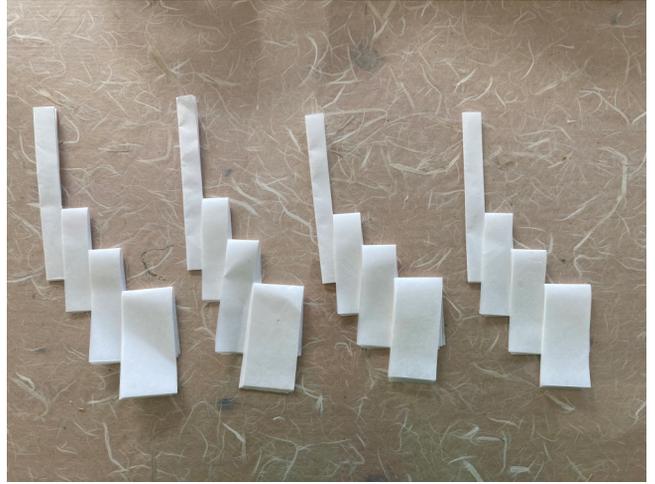
2. 連絡先

一般社団法人 未来社会推進機構 担当:副理事長 出澤俊明
電話 0269(67)0520
FAX 0269(67)0521

以上



販売品の手縄



しめ縄に付けて垂らす紙垂（しで）
小菅神社提供



小菅神社 里社 鳥居のしめ縄



小菅神社 里社 鳥居のしめ縄
と付けられた紙垂